

町田市幼保小連携推進事業

～なかよく！いきいき！わくわく！～

町田っ子だより 第4号

2020年12月発行

2020年度町田市幼保小連携推進担当者連絡会

をリモート形式で行いました！

2020年度は新型コロナウイルスという見えない脅威との闘いから幕開けとなりました。感染から身を守るため、利用者には市からの登園自粛要請に応じてもらい、各園には感染防止策を最大限行っていただきました。改めてありがとうございました。そんな中、幼保小連携推進事務局は当初予定していた幼保小連携推進担当者の連絡会を中止としました。しかしながら、昨年度までたくさんの方々に協力いただきながら作ってきた幼保小連携の機運を無くさないために何ができるかと、今後の展開を再検討した結果、リモート会議を行うこととしました。

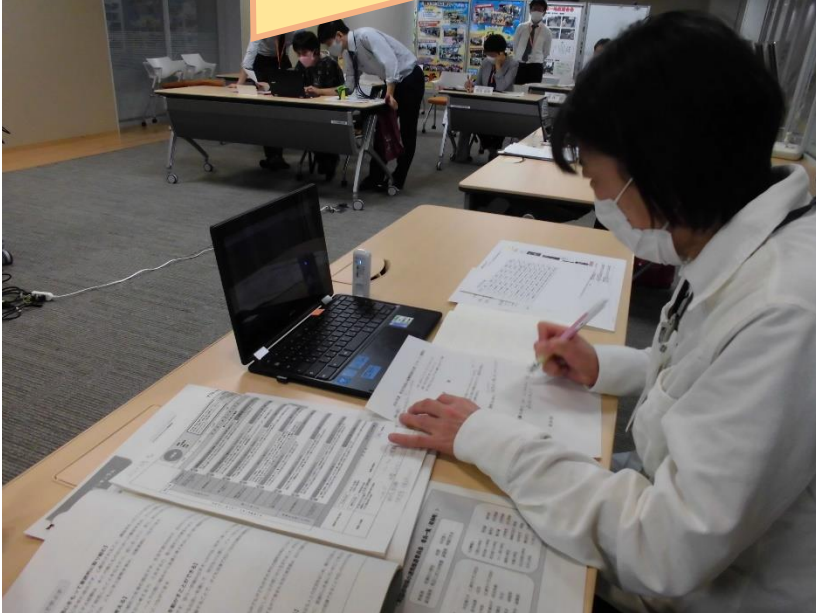
グループに分かれて行った意見交換では、コロナ禍での小学校の様子や学習の進捗具合を共有しつつ、幼保小連携に関する様々な意見がありました。意見交換の場では、子どもの育ちの環境について不安を感じながらも、前向きな気持ちを持ちたいという先生方の思いがひしひしと伝わりました。グループで出た意見やアイデアの一部をご紹介します。

対面による交流が難しいなど小学校に園児を呼ぶのが難しい場合であっても、お手紙や創作物などのやり取りだけでもやりたいと考えている。コロナの状況にあっても、工夫した交流は続けていきたい。

保育園・幼稚園までは、小学校のイメージを植え付ける必要はないと思うので、日々充実した日常を第一にしつつ、小学校の生活をちょこっと紹介してもらえたらうれしい。



こういう連絡会・会議は毎年行っているが、同じ職員が同じようなことを言うことが多くなる傾向にある気がする。各学校、幼保において、会議の結果を持ち帰って周知していくことや、学んだことを引き継いでいくことが大切と感じる。



教育課程を進めるのに精一杯で幼保と交流ができないこともあり、小学校に入ってから自己肯定感の形成がうまくできるか心配。

主体性を伸ばす環境が大事。その環境の一つとして交流は大切と再認識。先生同士の交流が重要。

幼保 10 園くらいから送られるアプローチカリキュラム全てに目をとおして、それをスタートカリキュラムに反映するのは難しい。



毎年夏休みにある小学校教員の研修で保育園に行くのはよかったので続けたい。逆に、保育園の先生が小学校に行く機会もあたらよい。

(小学校で) 出席の取り方を、自分の前の人が名前を呼びリレー形式に。同じ保育園・幼稚園からの友達がいないと、友達ができにくい子もあり、登校渋りも見られた。



小学校ではコロナの影響で、教育課程を進めることが優先となっていることや、ソーシャルディスタンスを守った生活をしていることから、子ども同士の関係構築や個々の自己肯定感等の育ちに心配する声が上がりました。ヒトの交流が制限される中、特に今年は時間の制約もあり、幼保小の交流もままならない状況だが、創作物等の交換等でできることを見つけていきたいという思いも。

参加者からの声



- ❖ 幼保小連携をすることで、子どもたちが安心して生活できる環境を整えていくことが今後も大切になっていくと感じた。ありがとうございました。
- ❖ 今日は、園や、各校の具体的な様子を聞くことができとても参考になりました。これからも、このような連絡会があると良いと思いました。
- ❖ 少しの時間でも保育園の先生と話げできたことがよかった。気軽に保育園・幼稚園の先生たちと連絡が取れるツールがほしいと思った。
- ❖ 直接会わなくてもできる交流の形を考えていきたい。また職員同士は、やはりリモートでの交流会を定期的に行ってきたい。

ご協力、ありがとうございました！！



～事務局から～



❖ 今回の幼保小連携推進担当者連絡会は、事務局としても初めてのリモート会議形式でした。当日は機械の動作不具合やネットワーク接続の不具合により、意見交換が進まないグループもありました。ご迷惑をおかけし申し訳ありません。問題のあった点について原因を探り、今後の事業展開へ反映していきます。

失敗もありましたが、今回のリモート会議では小学校・保育園・幼稚園の先生方の現状を共有し、コロナ禍における子どもの育ちについてたくさんご意見をいただきました。参加いただいた皆様、大変ご多用の中ご協力いただき、ありがとうございました。

❖ 参加者からは、こういった機会を設けたことがよかったという感想をいただきました。保育園・幼稚園と小学校の交流の機会がなくなってしまう中で、こうしたリモートでも顔を合わせる機会の提供は意味があったと感じます。事務局としても、今回の参会者の声を参考にさせていただき、「新しい生活様式」に合わせた今後の幼保小連携の在り方、事業の方向性を検討してまいります。

❖ 昨年度からスタートしたアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの作成とその後の共有は、課題もありますが是非続けていきたいと思ひます。まずは今年12月中に、アプローチカリキュラムの小学校への送付をご依頼する予定です。引き続きご協力のほど、宜しくお願ひ致します。

皆様の幼保小連携の取組みがあれば、

ぜひ取材させていただきます！

町田市幼保小連携推進事務局

042-724-2133 まで！

